

平成26年8月期(50期) 第1四半期決算補足資料

平成26年1月9日

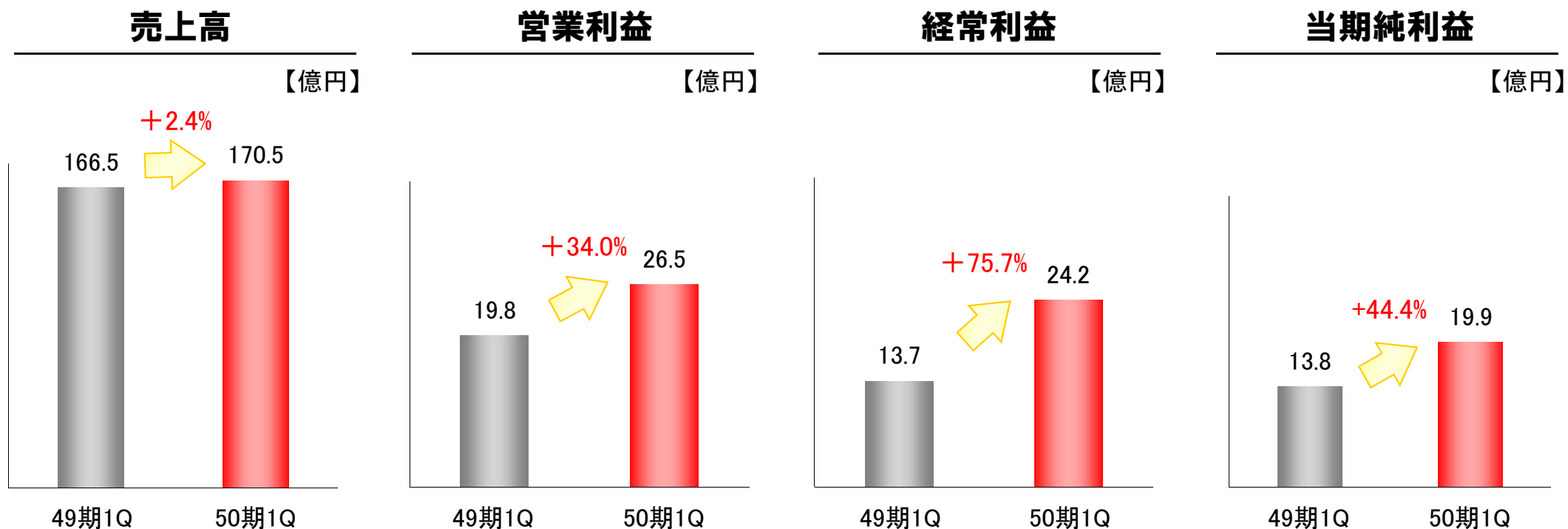


目次

1. 業績関連	... P2
2. 財務／経営指標関連	... P7
3. 事業関連	... P12
4. 第1四半期TOPIX	... P15
5. 免責事項	... P20

|| 業績関連 || 50期第1四半期連結業績(前期対比)

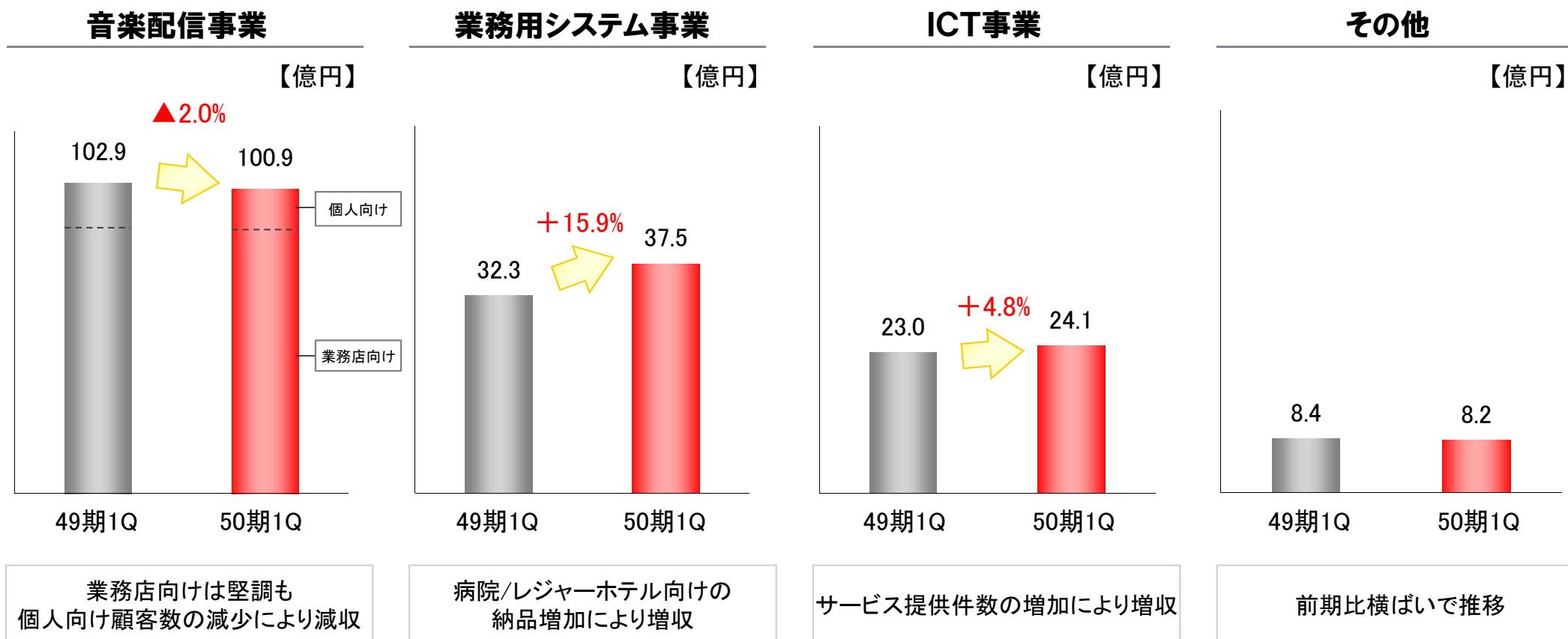
- 売上高は業務用システム事業、集客支援事業、ICT事業が増収
- 営業利益/経常利益/当期純利益は、業務用システム事業の堅調な推移やファイナンスコスト等の一過性費用がなくなったため大幅に増益



※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

|| 業績関連 || 50期第1四半期経営成績(前期対比)

セグメント別 売上高



(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

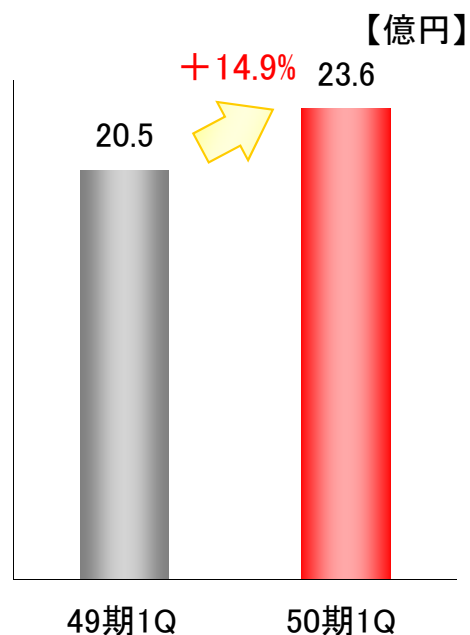
※ 49期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と△0.3億円の調整を行っております

※ 50期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と△0.2億円の調整を行っております

|| 業績関連 || 50期第1四半期経営成績(前期対比)

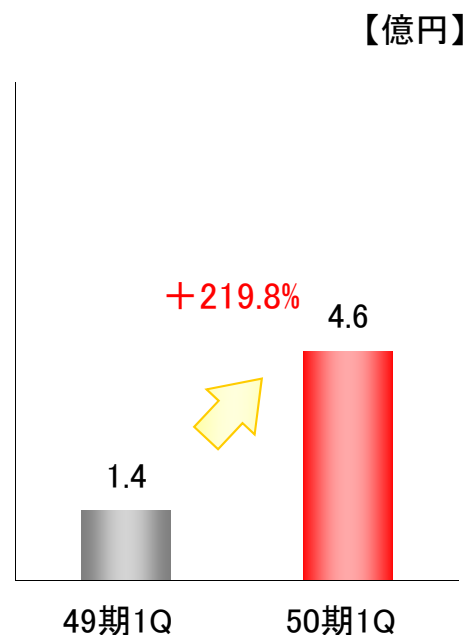
セグメント別 営業利益

音楽配信事業



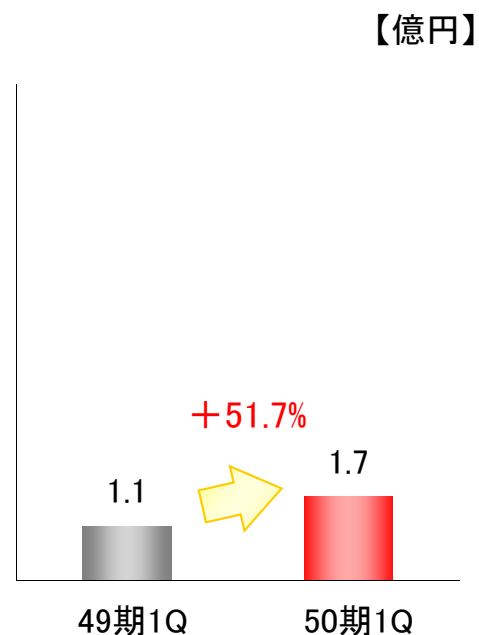
前期発生した一過性の
費用が無くなり増益

業務用システム事業



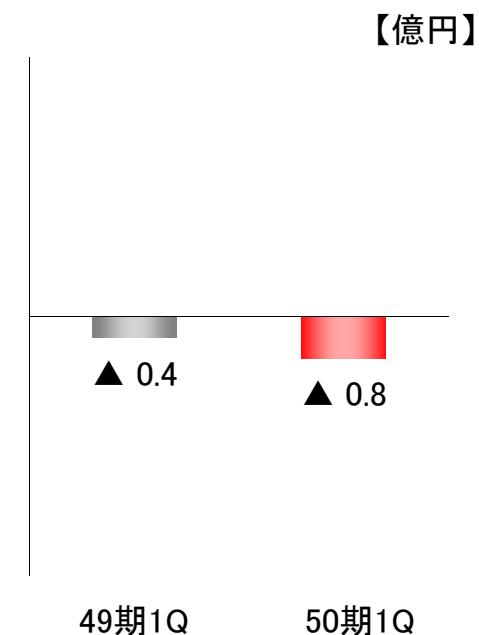
納品増加による増収および
採算性向上により増益

ICT事業



前期発生した一過性の
費用が無くなり増益

その他



前期比同水準で推移

※ 49期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と△2.8億円の調整を行っております

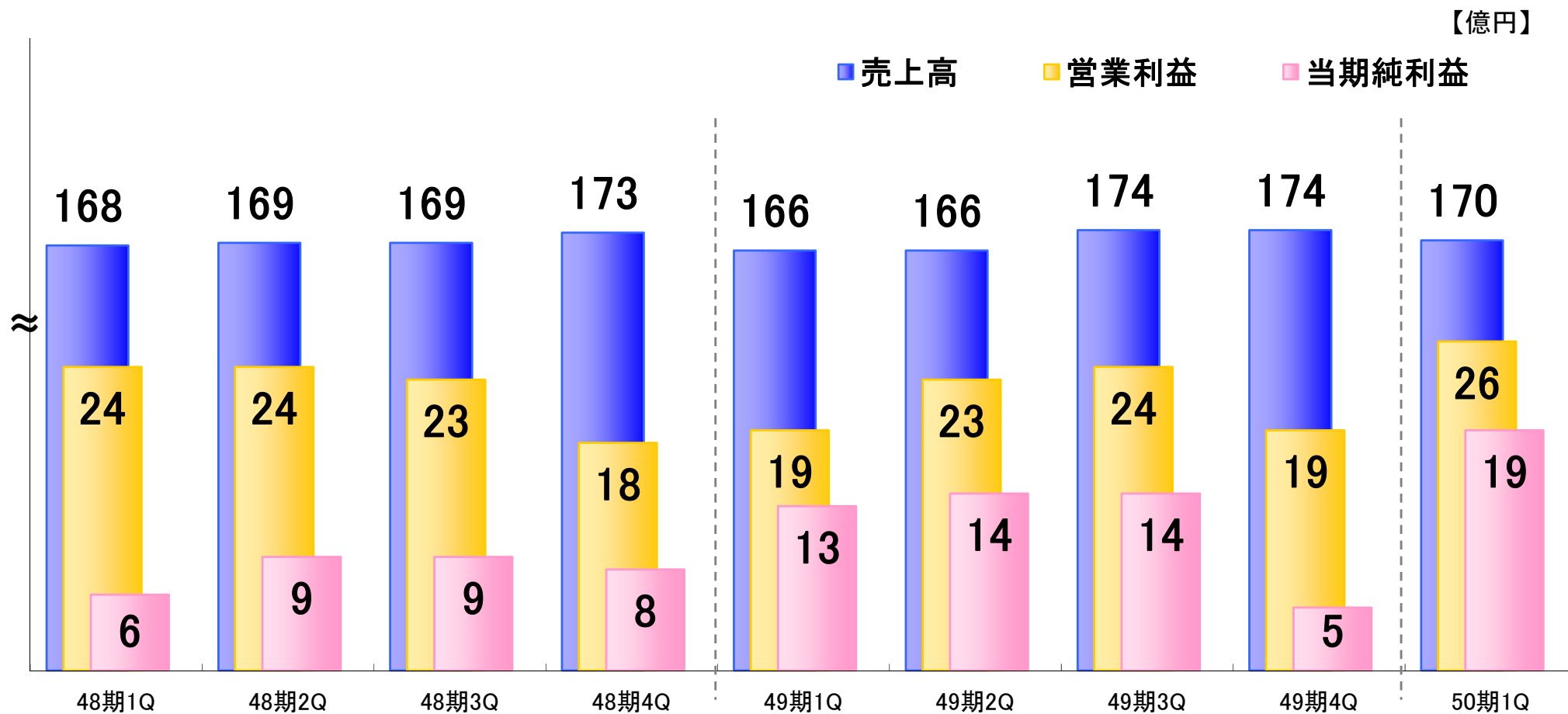
※ 50期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と△2.6億円の調整を行っております

|| 業績関連 || 業績予想に対する進捗率

【単位:億円】	1Q実績 (A)	通期予想 (B)	通期進捗率 (A÷B)
売上高	170.5	685.0	24.9%
営業利益	26.5	87.0	30.5%
経常利益	24.2	73.0	33.2%
当期純利益	19.9	50.0	39.9%

売上高はほぼ予想通りの進捗、
営業利益/経常利益/当期純利益は予想を大きく上回って推移

業績関連 連結経営成績推移

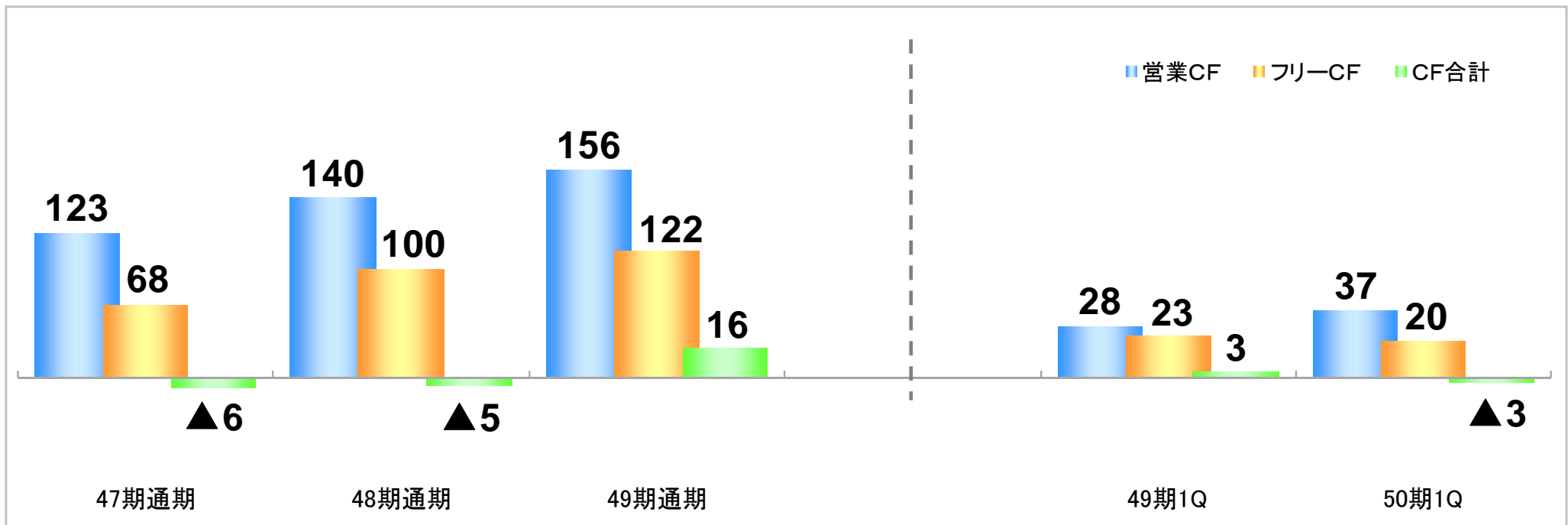


当四半期における売上高は過去2期の第1四半期と比較して微増
 当四半期営業利益、当期純利益に関しては前年同期に発生した一過性の費用がなくなったため大幅に増益

※ 各数値は端数切捨て

|| 財務／経営指標関連 || キャッシュフロー推移

【億円】



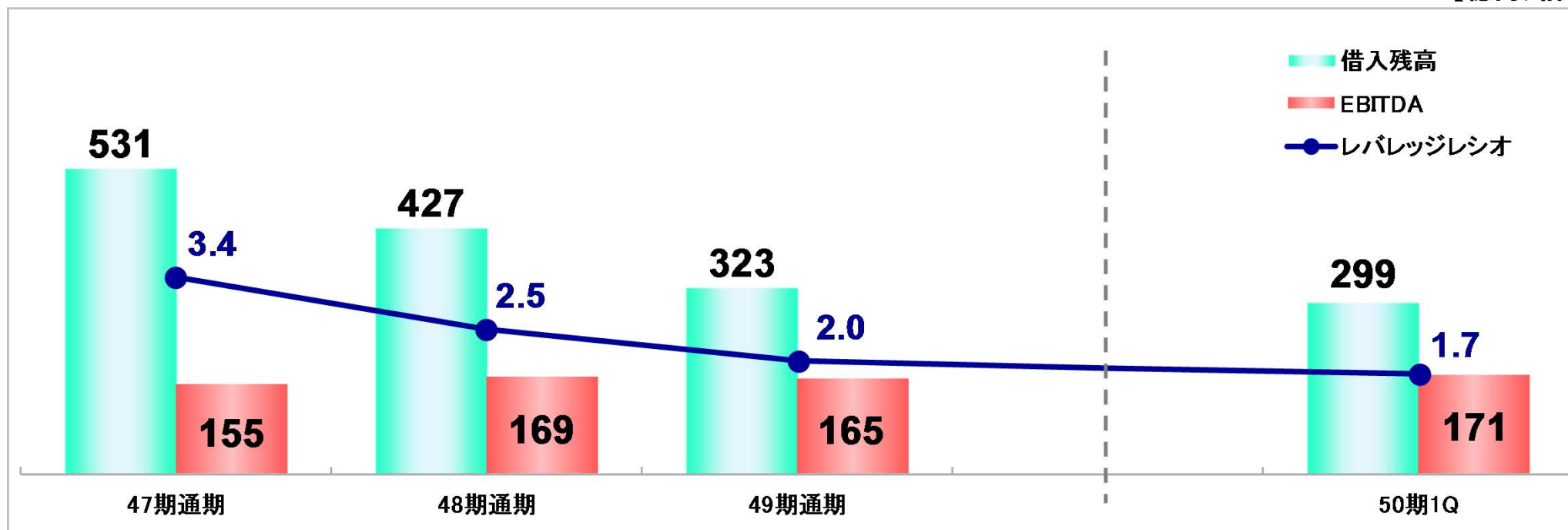
※フリーCF＝営業CF＋投資CF、CF合計＝フリーCF＋財務CF

<営業CF>	123	140	156	28	37
<投資CF>	▲54	▲40	▲33	▲5	▲17
<財務CF>	▲75	▲105	▲105	▲19	▲23

営業CFは前期比増加も、49期は資産売却による投資CF収入があったため
フリーCFでは前期比ほぼ同水準。創出したCFを借入弁済に充当

|| 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



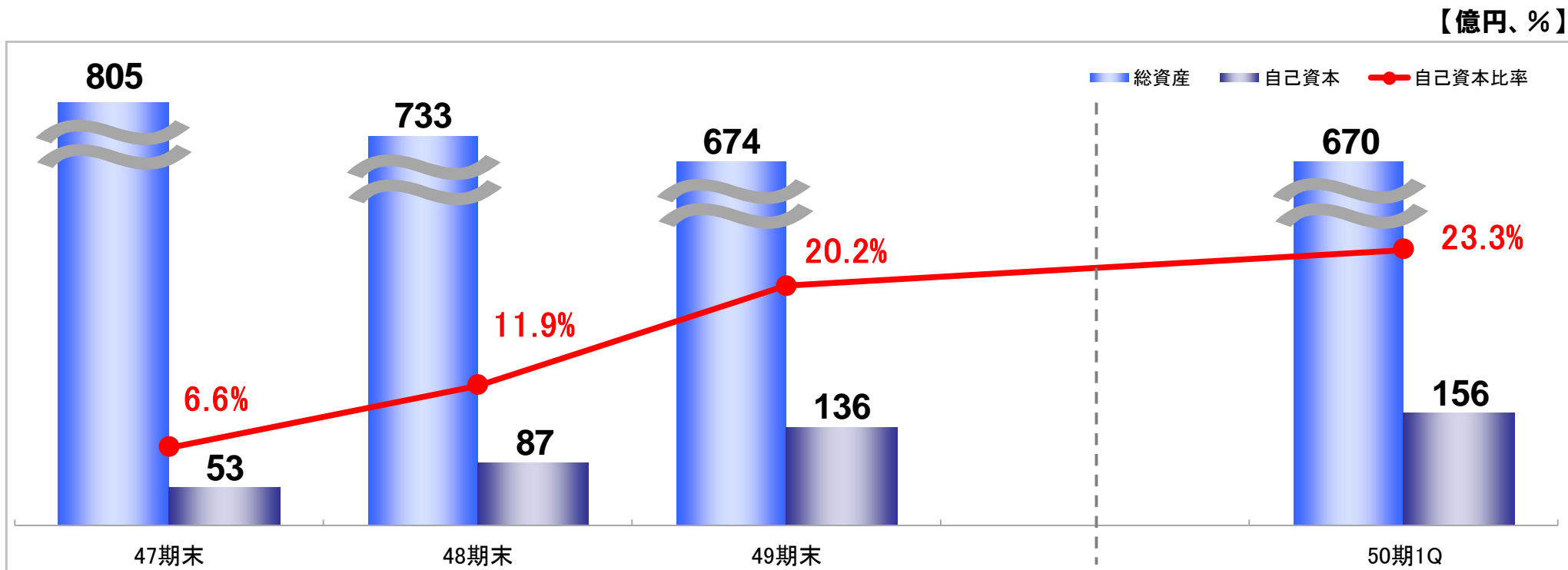
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

営業利益の前期比増益が寄与しEBITDAは前期比約6億円の増加、
借入金残高も300億円を割りレバレッジレシオは1.7倍と2倍を切る水準に

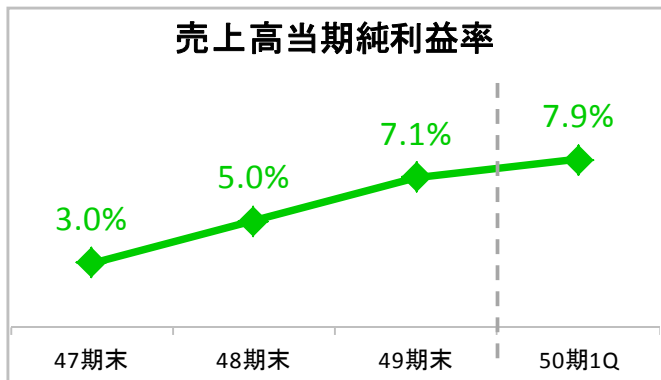
財務／経営指標関連 自己資本比率



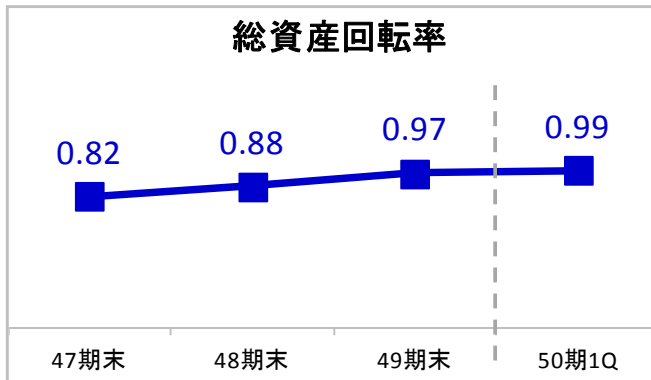
※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

総資産は前期末比ほぼ横ばいも、第1四半期において約20億円の
当期純利益計上により自己資本を積み上げ、自己資本比率は23.3%まで改善

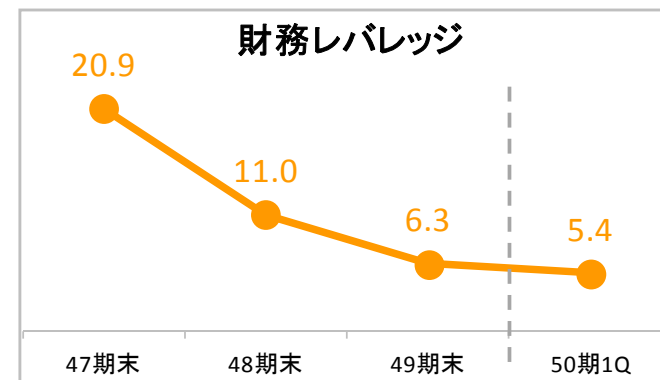
|| 財務／経営指標関連 || 自己資本利益率(ROE)



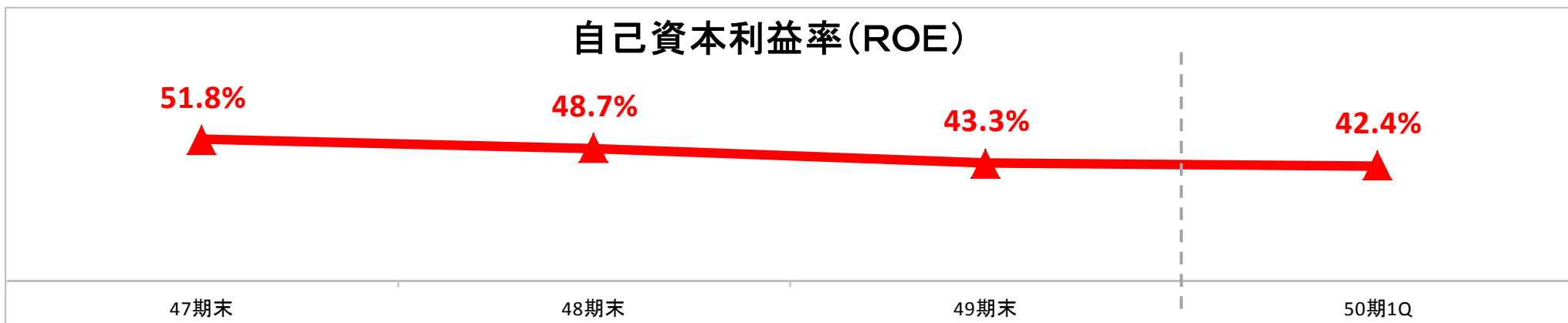
着実な利益創出力向上



バランスシート整理により資産効率向上



借入圧縮による安全性向上



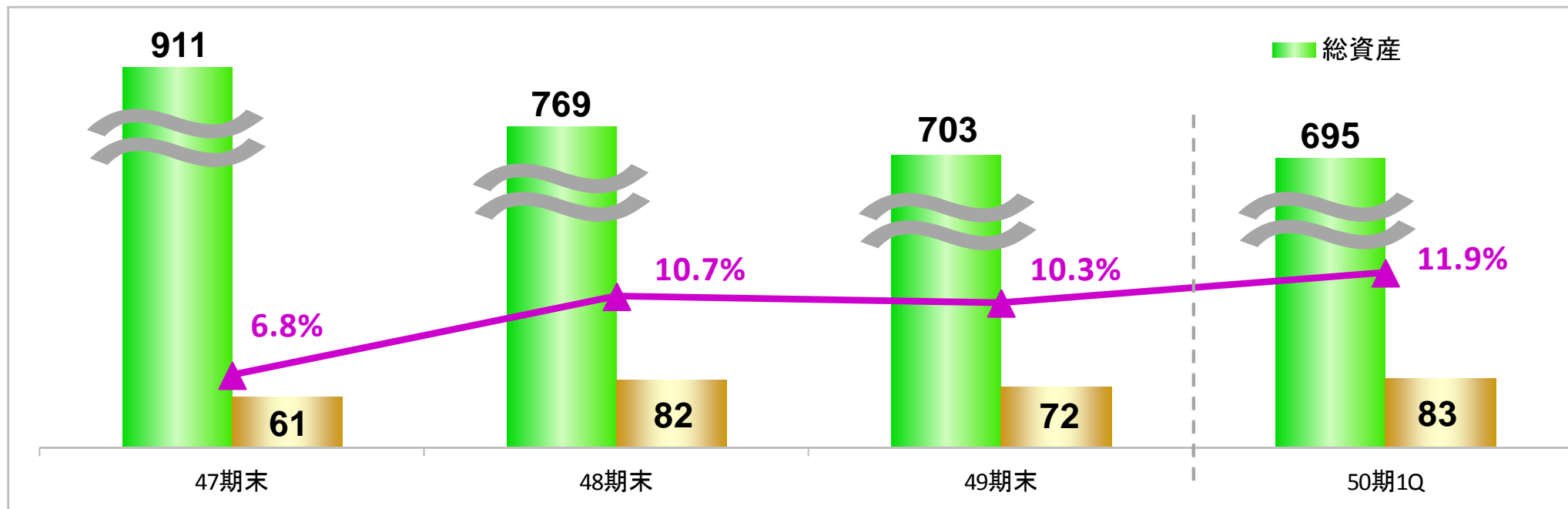
財務レバレッジ低下によりROEは減少傾向も、40%超を維持

※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※50期1Qの売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は49期1Qと50期1Qの平均値

|| 財務／経営指標関連 || 総資産経常利益率(ROA)

【億円、%】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益 / 期中平均総資産 × 100

※50期1Qの経常利益は直近12ヶ月ベース

※50期1Qの期中平均総資産は49期1Qと50期1Qの平均値

**経常利益は一定規模を維持、
資産売却等によるバランスシートの整理でROAは良化傾向**

|| 事業関連 || 音楽配信事業関連

▶▶▶ 業務店向けに店舗環境構築のための新たなソリューションを提供

▶▶▶ 新チューナー「PRX-5000」をリリース

- 衛星/ケーブル両方の配信方法に対応したハイブリッド型
- 店舗で配信するコメントの録音/再生が可能
- 店舗内でのスタッフ呼び出し機能も提供



▶▶▶ 新チューナー「S'sence」をリリース

- 店舗のネットワーク回線を活用するため設置工事が不要
- 店舗ごとに、より多彩なBGMの流し分けが可能
- オーダーメイドでチェーン企業のブランド戦略に応じた楽曲を編成可能



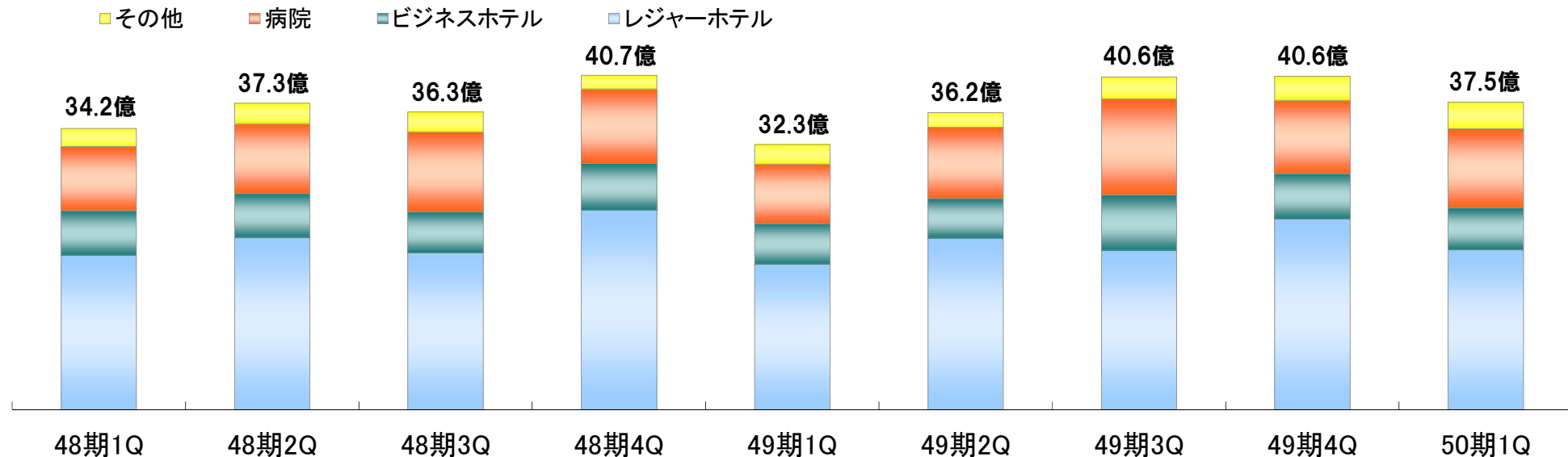
▶▶▶ 店舗向け通信サービス「USEN ♪ LTE」を提供開始

- 空間演出に欠かすことのできないBGMと、高速LTE回線が使えるモバイルデータ通信端末をセットにしたプランも提供

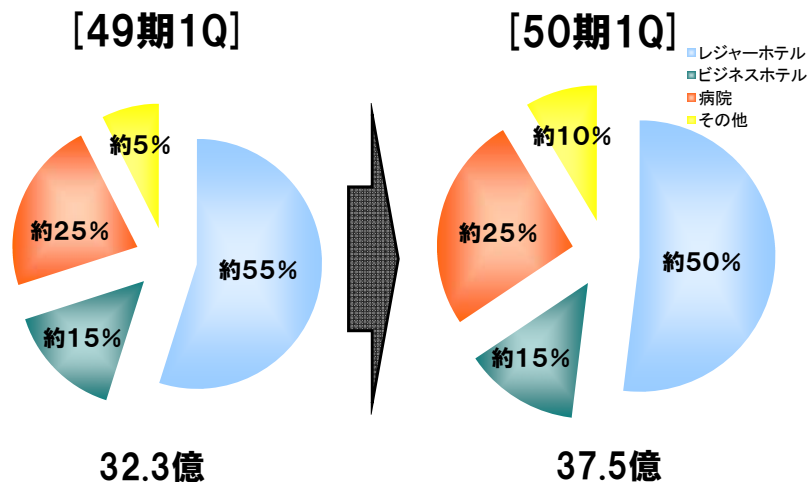


|| 事業関連 || 業務用システム事業(売上ポートフォリオ)

■ 四半期推移



■ 前期比



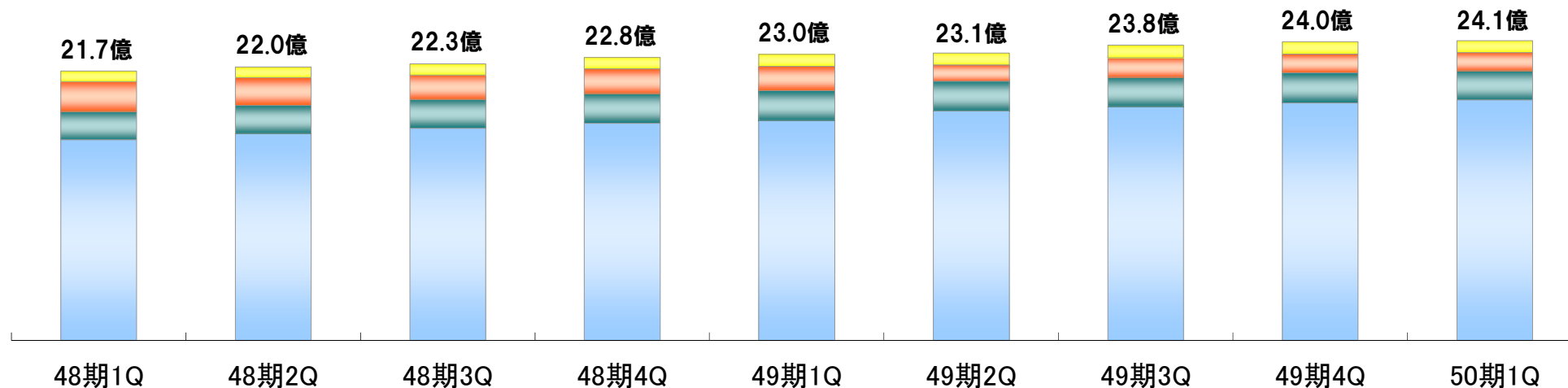
○ 病院事業の増収が全社売上に貢献

- 本格的な普及期に入った病院事業が前年同期比大きく伸長
- レジャーホテル、ビジネスホテルも安定的に推移
- ゴルフ場などその他セグメントについても増収傾向
- 例年弱含む1Q実績において過去2年と比較し大きく増収

|| 事業関連 || ICT事業(売上ポートフォリオ)

■ 四半期推移

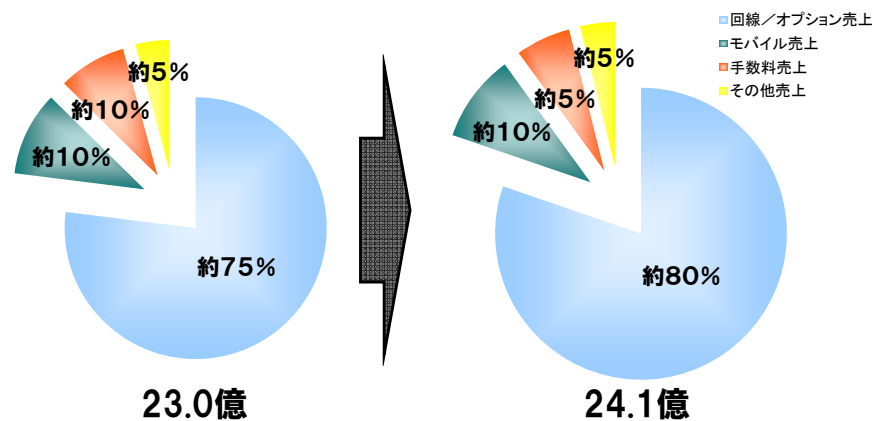
■ その他売上 ■ 手数料売上 ■ モバイル売上 ■ 回線/オプション売上



■ 前期比

[49期1Q]

[50期1Q]



○ 増収基調確保も、徐々に事業環境は激化

- 回線/オプションサービスは増収基調を維持
- その他の各売上ポートフォリオは前四半期比減収
- キャリアのマーケット参入等により事業環境は厳しくなる傾向あり
- サービスラインアップ拡充などで競争力強化を図る

IR/PR関連

>> 音楽配信事業関連

- 2013年10月 ●秋の番組改編
- あべのハルカスのBGMに関し、学生オーディション実施

>> グルメサイト「ヒトサラ」関連

- 2013年11月 ●世界の食糧問題解消に貢献する社会貢献プログラム「ヒトサラ×TABLE FOR TWO」を通じて給食寄付数が1万食
- 「料理人名鑑」掲載料理人が3,000人を突破

>> 2013年11月6日 新指数「JPX日経インデックス400」構成銘柄に採用

>> 2013年11月28日 第49期定時株主総会開催 新経営体制スタート

(後発事象)

>> 2013年12月3日 新サービス『スマホでUSEN』をリリース

|| 第1四半期TOPIX || 音楽配信事業関連(後発事象)

▶▶▶ 2013年12月3日に、スマートフォン向け音楽配信の新サービス「スマホでUSEN」を開始

- 50年の音楽配信事業ノウハウを活かしたスマートフォン向け定額音楽配信サービスを発表
ラジオ型配信のスタイルにこだわり、575チャンネルを取り揃えてスタート
- 最新J-POPや懐かしの洋楽、外国語学習、ランニング向けBGMなど、バラエティに富んだ内容を月額490円で提供
- ユーザーの趣向やその時の気分、シチュエーションに適した曲をシーン別の検索機能で見つけることも可能



※12月3日の記者発表会の様子

|| 第1四半期TOPIX || 音楽配信事業関連

▶▶ 2013年10月1日 秋の番組改編

—注目の北欧ポップスや Birthday ソングなど 音で「おもてなし」を演出できる番組が誕生



▶▶ 2013年10月26日、27日 「あべのハルカス」のBGM制作に関し、学生オーディションを実施

—USEN WHITE STUDIOにて、「あべのハルカス」パウダールーム専用オリジナル音源制作に伴う演奏者オーディションを開催。
大阪の学生にこだわった産学連携の試みから、新たなBGMが誕生



|| 第1四半期TOPIX || 「ヒトサラ」関連

▶▶ 2013年11月 「ヒトサラ×TABLE FOR TWO」を通じて、給食寄付数が1万食

– 2013年4月から、社会貢献プログラムに参画中。
ヒトサラでお店を予約すると1予約につき10円が寄付され20円で、給食1皿(ヒトサラ)が寄付される取組みで、2013年11月には、1万食を超えた給食寄付数となった。

▶▶ 2013年11月 「料理人名鑑」掲載料理人が3,000人を突破

– 「料理人名鑑」で紹介中の掲載料理人が3,000人を突破。料理人の顔が見られる安心感を大切にしているヒトサラが展開する「料理人名鑑」は日々進化。

|| 第1四半期TOPIX || IR関連

▶▶ 2013年11月6日新指数「JPX日経インデックス400」構成銘柄に採用

－2014年1月6日より算出開始予定の新指数「JPX日経インデックス400」は、株式会社東京証券取引所と株式会社日本経済新聞社が共同で開発した新たな株価指数で、東京証券取引所上場銘柄(市場一部、市場二部、マザーズ、JASDAQ)の中から自己資本利益率(ROE)が高いなど「投資家にとって投資魅力の高い会社」400社に当社が採用。

▶▶ 2013年11月28日 第49期定時株主総会開催 新経営体制スタート

－2013年11月28日(木)午前10時よりベルサール新宿グランドにて第49期定時株主総会を開催

■報告事項

- 1 第49期(自 2012年9月1日 至 2013年8月31日)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2 第49期(自 2012年9月1日 至 2013年8月31日)計算書類報告の件

■決議事項

- 第1号議案 取締役5名選任の件
- 第2号議案 監査役1名選任の件
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件
- 第4号議案から第9号議案は株主提案

※第1号議案から第3号議案は原案どおり承認可決、株主提案はすべて否決

|| 免責事項 ||

本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。

本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。